

不良を「外に出さない、造らない、入れない」仕組みの確立

ポカミスの撲滅とポカヨケの仕組みづくり

と き：平成24年7月6日（金）10:00～16:45（6時間研修【昼食休憩12:30～13:15】）

と ころ：クリエート浜松（〒430-0916 浜松市中区早馬町2番地の1 053-453-5311）

対 象 者：品質管理・製造部門の管理・監督者、生産技術スタッフ、部門長・工場長クラスの方々

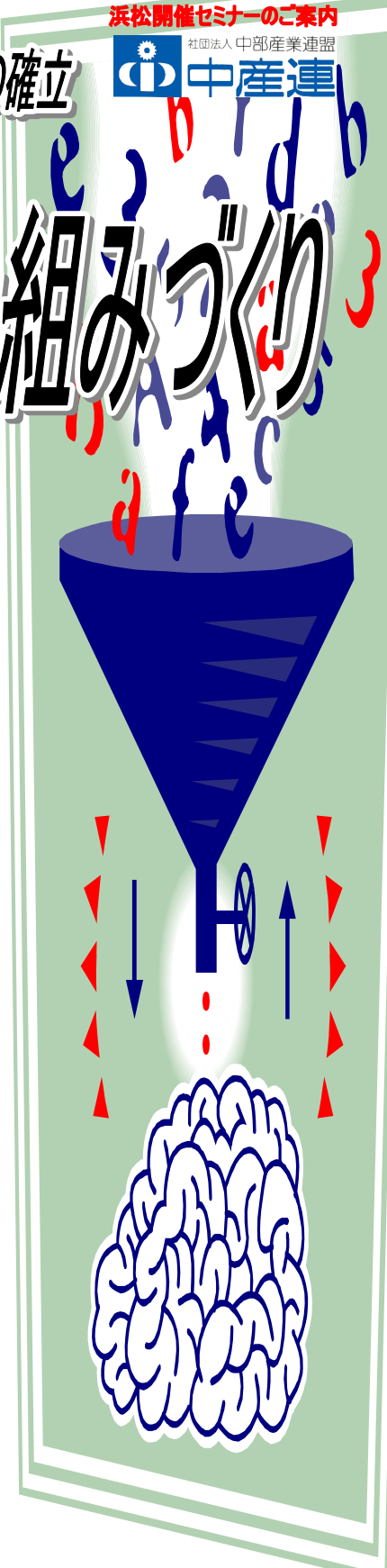
ね ら い：製造業にとって「不良」の発生は、コストアップを招くことに加え、企業の信用を失うほどの致命傷になりかねません。特にグローバル競争の中で製造業が競争力を高めていくためには、不良ゼロの生産現場の実現が必要不可欠となっています。一口に不良といっても、原因は「加工ミス」「異品混入」「ワーク違い」など様々ですが、その背景に共通するのはオペレーター（人）です。つまり、人によるミス（ポカミス）、ヒューマンエラーを防ぎ、不良を外に出さないようにするための工夫や仕組みを「ポカヨケ」と言いますが、この構築が不良対策の最重要課題となります。不良の原因は二つだけです。一つは、手順が決まっていない場合、もう一つは、手順が決まっても守れない場合、この二つです。それでは、対策は？…“5Sのしつけ”が大事な項目になります。本セミナーでは、ポカミスを撲滅し不良を外に出さないようにするための対策の立て方、進め方、改善の着眼点について実例をもとに解説します。

講 師：田部 信雄 氏 TQRテクノシステム 代表

講師紹介：1967年広島大学工学部卒業後、同年松下電器産業入社、部品事業本部配属（後の松下電子部品（株））同社においては電子部品の品質・信頼性技術の研究開発に従事。これらの研究成果は“1969年 ICQC’69-Tokyo”での発表や品質管理大会等で発表すると共に「品質管理誌」「品質誌」等に投稿し、1972年度と1977年度の“SQC賞”を受賞。一方TQM活動の一環として国内外の40拠点に対する



「IEC電子部品評価制度」や「ISO認証制度」の取得推進をはかり品質信頼性保証体制の確立充実を推進すると共に、QC, IE, VEなど全社の管理技術教育やQCサークルの推進を通じ、問題解決の出来る人材育成を推進 1995年から宇宙開発事業団委託研究を5年間推進し、「宇宙用高密度実装技術」を開発 その間日科技連や日本規格協会のセミナー講師や幹事、QCサークル近畿支部の幹事長、品質管理学会では関西支部幹事、本部理事など担当。現在はTQRテクノシステム代表として品質信頼性を中心に企業指導やISO（品質・環境）等の導入・推進とシステムの維持改善の支援を推進中。



☆講師の派遣も承ります。☆

各研修講師が直接企業にお伺いし、研修を実施する「企業内社員研修」もお引き受けすることができます。今回ご案内したテーマ、プログラム内容にかかわらずカスタマイズすることが可能です。社員教育としての研修のほか協力会の会合での研修、講演などにも最適ですので、是非ご相談下さい。

担当：加藤・新美 052-931-9826

カリキュラム ※コンサルタント及び教育機関の方は、お申込みをお断りしています。

<p>I、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方(その1)</p> <p>1、ポカヨケ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポカヨケとは ・ポカミスとは ・ポカミスの原因と結果 <p>2、品質保証活動とポカヨケ(製造工程におけるポカヨケ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質保証とは ・工程設計の進め方 ・検査設計の進め方 ・ポカヨケによる品質保証 ・未然防止のポカヨケ ・FMEAとは、FTAとは、QA ネットワーク、RCAとは <p>3、ポカヨケの考え方</p> <p>4、ポカヨケの仕組みと例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・識別によるポカヨケ ・警報装置によるポカヨケ ・治具方法の工夫によるポカヨケ ・連動方式に工夫によるポカヨケ ・全数選別方式によるポカヨケ ・ポカヨケを組み合わせた仕組み <p>5、ポカヨケの標準化-ポカヨケを付ける、使う-</p>	<p>6、ポカヨケの実施手順と事例</p> <p>7、ポカヨケ推進のための活動</p> <p>8、ポカヨケ実施事例</p> <p>9、ヒューマンファクターとヒューマンエラー</p> <p>10、大脳生理学からのヒューマンエラー</p> <p>II、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方(その2)</p> <p>—作業を対象にしたポカミス防止の理論と実践—</p> <p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポカミスは人の責任？ ・ヒヤリハット報告から見たヒューマンエラーの問題点 <p>【応用編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを活用する <p>III、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方(その3)</p> <p>—ポカミスを防ぐ5Sと目で見える管理—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポカミスを防ぐ5Sの基本 ・ポカミスを防ぐ目で見える管理の基本
---	---

●受講料(1名様、税込み) 中産連会員 29,400円(うち消費税 1,400円)、中産連会員外 34,650円(うち消費税 1,650円)

●お申込手続き

1.申込方法:	申込書に必要事項をご記入の上、下記申込先まで切り取らずに FAX 送信してください。受領後、確認のご連絡を致します。 受講票・請求書は、1～2週間前に発送いたします。 2名以上の参加の場合は、参加費を10%割引。 ※前日、当日のキャンセルはご容赦下さい。ご参加者の都合が悪くなった場合、代理出席をお願いいたします。
2.ご注意:	①開催日から2週間前になっても、参加者が、5名に満たない場合は、中止又は延期にする場合があります。 ②録音機の持ち込みはかたくお断りしています。 ③テキストは会場にてお渡しします。参加者以外の方にはテキストはおわけていません。 ④同業他社からのご参加はお断りする場合がございます。
3.お問合せ:	社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 コンサルタント派遣担当 プロジェクトマネージャー 加藤 唯 〒461-8580 名古屋市東区白壁 3-12-13 TEL:052-931-9826 E-Mail: kato-yui@chusanren.or.jp

マネジメント研修事業部 加藤 行

FAX:0120-342-340

中産連ホームページ <http://www.chusanren.or.jp/>

受講申込書		浜松セミナー		ポカミスの撲滅とポカヨケの仕組みづくり (7/6)		※必要事項をご記入の上、切り取らずにこのまま FAX をお送りください。	
所属部課・役職名		氏名(フリガナ)		会社名			
				〒 -			
				所在地			
				TEL () -			
				FAX () -			
概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	E-mail アドレス @			
		百万円	人	申込責任者役職・氏名			
<p>今回ご記入いただいた個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は、HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意の上、ご協力をお願い致します。関連情報の提供が不要の場合、右記にシ点を記入下さい。 <input type="checkbox"/>セミナー等の情報提供を希望しない</p>							